

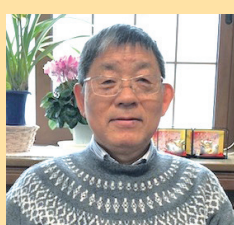
クローズアップ

温故知新。過去の歴史や文化財は地域づくりのキーワード

私は、現在、町文化財保護委員をしておりますが、以前は、七ヶ宿町水と歴史の館館長も務めさせて頂きました。水と歴史の館は先人が残してくれた文化財や歴史に関する資料などを収集、保管公開し、町民の文化の向上に資するための、学びの場、親しむ場、楽しむ場の社会教育施設です。一方で、町外に対して、七ヶ宿町の過去・現在・未来の情報を発信する教育や観光の施設でもあります。

七ヶ宿町には、湯原城跡（湯原）や聖観音像（関）など、5件の指定文化財があります。そして、約80ヶ所の埋蔵文化財（土地に埋蔵されている文化財）があり、その殆どが縄文時代の遺跡ですが、6ヶ所は湯原城跡などの城跡です。それ以外にも、町内には先人が築いた歴史遺産や文化遺産が数多く残されています。

長年、役場職員として、七ヶ宿町の歴史や文化財に関わる仕事に携わる事ができたことは、私にとつて大きな財産です。温故知新。過去の歴史や文化を学ぶことで、よりよいまちづくりの未来が開けて来ると日々考えています。国内では、先人が残した文化財遺産の保存活用は、地域の活性化やまちづくりに欠かせないアイテムとなっております。



これまでの得た知識や情報を生かし、町内小中学校などで歴史や文化財の講師を務める。現在は湯原区長として、積極的に地域づくりに取り組んでいる。

これまで得た知識や情報を生かし、小さくても持続可能なまちづくりに貢献したいと常日頃から考えています。そのためにも、今後も七ヶ宿町の歴史や文化財について調査研究し、未来に継承して行きたいと思っております。

高橋 正雄
たかはし まさお

湯原地区にお住まいの高橋正雄さんより投稿いただきました。

あなたも議会の傍聴してみませんか？

次回の議会は令和6年3月5日から18日の会期で、第1回定例会を開催予定です。
傍聴に関してのご質問は「七ヶ宿町議会事務局」までお気軽にお問合せ下さい。

編集後記

今年には雪のない穏やかな新年を迎えましたが、夕刻に能登半島で発生した地震被害は津波や大規模火災、幹線道などライフラインの寸断、犠牲者や安否不明者を含む多くの被災者など、日増しに全国民に衝撃を与えています。

我が町でも毎年防災訓練を実施し、議会でも「七ヶ宿町議会災害対策本部設置要綱」を設け防災訓練に参加していますが、町民の皆さんには改めて日頃から防災意識を願うところです。

（高橋きく子）

議会広報特別委員会

委員長	吉田 修
副委員長	高橋 浩之
委員	五十嵐 敏夫
委員	高橋 きく子

広報だより作成のため、お気軽にご意見・ご要望をお聞かせください。



現在町のホームページからも議会の内容や議会だよりをご覧いただけます。

▷ 連絡先 七ヶ宿町議会事務局 ☎ 37-2197 FAX 37-2198

12月定例会の傍聴者は3名でした